

11月18日(金曜日) ハノイ~ホーチミン

午前中は、ハノイ市内の観光。最初に訪れた「文廟」は、別名「孔子廟」。ベトナム初の大学として建設され「学問の神様」と言われている。広い敷地内には歴史的な建造物が多く、見応えがある。

次の「タンロン城址」の北門には、1882年のハノイ陥落の際にフランス軍艦が攻撃した砲弾の跡が残っていた。当時の砲弾は、鉄の玉が飛んで来たのであろうか、大きな穴が2か所も開いていた。時間が無くて「ホーチミン廟」は敷地外からの見学となった。

続いて「タイ湖」に浮かぶベトナム最古の寺院と呼ばれる「鎮国寺」。インドから送られた「菩提樹」は威厳がある。「ハノイ大教会」はステンドグラスがお勧め。昼食は「バイン・ミー」。これは何種類かのハムや野菜の入ったフランス風のロールパンを使ったサンドイッチである。香ばしく、パンの歯ごたえも良くて美味しかった。



「文廟(ぶんびょう)」



「タンロン城址(北門)」



「鎮国寺①」



「鎮国寺②」

午後からは、2時間15間分のフライトで、最南端に位置する都市の「ホーチミン(旧サイゴン)市へ移動。商業・経済の中心地である。到着後は、「ベトナム南部料理」に舌鼓を打ち、宿泊先の「サイゴンプリンスホテル」に向かう。何かのイベントで、ホテル前の通りは「お祭り広場」になっている。嫌な予感がしたが、予想通りに深夜2時頃まで音楽が流れて騒がしい。活気があって良いと言えば、それまでだった。

11月19日(土曜日) ホーチミン～ハノイ

朝は、家内とウォーキングにて散策。今日のイベントはまだ開催されていないので非常に静かである。

朝食後は、11時半の出発まで自由時間だったので、まずは「ホーチミン市人民委員会庁舎」へ。フランス植民地時代の白亜色の建物。1909年の古代ローマ建築で景観が素晴らしい。

その後、高さ242mの高層ビルの「スカイデッキ」へ。49階にある「展望台」からは中心街を一望出来て、まだ開発中の場所と新たな商業施設も見える。



「ホーチミン市人民委員会庁舎」



「スカイデッキ」からの展望

ホテル出発後は、すぐに昼食。市内の有名な飲茶レストラン。美味しい料理にビールを注文して、舌鼓を打つ。市内観光は、「タン・ディン教会」。この教会の外装はピンクなので「写真スポット」で有名である。

残念ながら敷地内には入れなかった「ベトナム戦争終結」の場所の「統一会堂(旧大統領官邸)」へ。当時、突入に使用されたと思われる戦車などをフェンス越しに見る事が出来た。



「統一会堂」で見られた戦車



「中央郵便局」の内部

次は名所の「中央郵便局」。ここはパリの「オルセー美術館」をモデルに 1891 年築。内部は通常の郵便も扱っているが、多くの土産物店も入っていて時間の経つのを忘れる。



「タン・ディン教会」



「中央郵便局」の外観

「ベントイン市場」では、所狭しと多くの店がひしめきあっている。8~9割の値引きと言う事でその交渉も旅の醍醐味だが、大勢の人と雰囲気酔ってすぐに出る。その後は、露天などが並んでいる中華街。排水溝などからの匂いが強い。ここを通り抜けて、航海安全の守り神「天后聖母」を祀っている「ティエン・ハウ寺」へ。数多くの線香が焚かれ、中国独特の風情である。

旅の締めくくりは、元「アヘン工場」をそのままの雰囲気を残したレストランの「ザ・リファイナリー」へ。ここではフレンチのコースを頂く。すごく美味しい。元フランス領だったので味が洗練されている。

帰路は、ホーチミンから日本への直行便が運休されているとの事で、食後は午後9時の飛行機で2時間20分をかけてハノイへ移動。23時20分着。

11月20日(日曜日) ハノイ~日本

昨日、深夜の40分前に到着したばかりだが、午前1時40分と深夜便の飛行機に約2時間待ちの乗り継ぎで、福岡空港へ。無事に、7時10分に到着。ここでは約5時間のフライトだが、行きと同じく狭くて、座席のモニターも無いので飛行時間を長く感じる。

ベトナムは古い歴史と新しい開発が共存しており、活気にあふれ、食べ物も美味しい。是非、もう一度訪れたい国である。